

2022年4月12日

中国事業における新型コロナウイルス感染症の影響について

中国では、2021年後半から局所的な新型コロナウイルス感染拡大がみられ、現在、感染予防策が取られています。2022年3月に入ってから中高リスク地区※が増加しており、大規模なPCR検査、交通規制、レストラン、娯楽施設などの営業制限、移動制限が行われ、市民生活に影響が出ています。

<2022年3月までの状況>

当社中国事業に関しては、生産活動は、6か所の工場（広州第1、広州第2、佛山、上海、天津、無錫）で行っていますが、2022年3月は上海工場において5日間、稼働を停止しました。但し、他工場は感染防止対策をしながら生産、出荷を継続しました。

営業活動では、現在50か所ある支店のうち、43の支店管内において、多くの地区が中高リスク地区に指定されました。これにより、店頭部門では納品停止となる店舗が増加し、販売本数への影響が生じました。また、宅配部門についても、深圳や上海におけるヤクルトレディの拠点が営業停止になりました。週を追うごとに販売状況は悪化しており、2022年3月度の中国全体の販売本数は、前年と比べて約7%の減少となりました。

<現在（2022年4月）の状況>

当初4月5日までとされていた上海の都市封鎖は延長され、上海以外でも多くの地域で交通制限や都市封鎖が続いております。

このため、当社中国事業に関しても、上海工場の稼働停止や、一部の営業社員およびヤクルトレディの活動停止等の影響が出ています。しかし、上海工場を除く5工場では生産を継続しており、商品配送についてもできる限りの対応を進めているところです。

今後も行政指導を遵守し、感染予防に努めながら、事業活動への影響を最小限に抑えるよう、地方政府と連携して事業活動を行って参ります。

※中高リスク地区の地区とは、日本では市、区、町等に相当します。

以上